

予算へつながる決算

令和4年度決算審査

令和4年度の一般会計の歳出総額は、約683億円でした。

決算審査では、予算に対して、市のお金の使い方の方が正しかったか、それぞれの事業の効果があつたかなどを確認しました。また、この決算審査を通じて集めた情報は、今後どのような予算の使い方をすべきかを考えるための判断材料にもなります。

市民の皆さんの安心・安全な生活を支え、より良い地域社会を実現するために、決算特別委員会での議論を一部抜粋し、ご紹介します。



呂当山地区調整池用地購入



混合槽遠隔監視装置設置事業
(温泉供給 特別会計)



隼人駅東土地地区画整理事業

過去最高の税収の要因は

市税収入

173億4,313万9,308円



仮屋 国治
議員

Q 市税が、合併後最高額だった。その理由と背景は。

A 納税義務者の増加や、控除前の課税標準額が200万から700万円未満の納税者が増加したこと。固定資産税は、宅地の造成または新築家屋の増加、専用住宅の新築家屋の増加等が高い水準を維持しているということが要因である。

市民によるごみ分別の成果は

資源ごみの売却益

7,100万円



宮田 竜二
議員

Q 令和3年度の4,900万円に対して、資源ごみの売却額が上がっている理由は。市民へのアピールをするべきでないか。

A ペットボトルや缶など、近年まれに見る高い相場で取引されている。市民へのアピールの方法を、今後研究していく。

農道・用排水路整備事業の推進を

農道・用排水路整備事業

9,017万2,662円



久保 史睦
議員

Q 令和4年度のまちづくり計画の実施率と今後の対応は。

A 要望件数204件中、実施対応件数が65件、対応率31.8%である。必要性や緊急性、補助事業の検討、地域との調整も加え、適切に対応している。限りある財源で今の推移を保ち、有効に活用していきたい。

教育支援センターの通所状況は

いじめ・不登校対策等子どもサポート事業

2,120万6,642円



竹下 智行
議員

Q 教育支援センターの利用状況は。

A 国分教育支援センターは国分地区21人、霧島、福山地区が各1名、その他の地区は計23人。隼人教育支援センターは隼人地区22人、溝辺、霧島地区が各1名、その他の地区はなく、計24人。合計47人が通所した。

各会計の決算額

※1万円未満は四捨五入しています。企業会計は収益的収入と支出を掲載しています。

会計名		歳入	歳出	差額
一般会計		730億4,225万円	682億9,087万円	47億5,138万円
特別会計	国民健康保険	143億4,936万円	142億7,751万円	7,185万円
	後期高齢者医療	16億8,334万円	16億7,614万円	720万円
	介護保険	117億3,852万円	111億6,953万円	5億6,899万円
	交通災害共済	3,155万円	827万円	2,328万円
	温泉供給	1億152万円	8,870万円	1,282万円

会計名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収入	支出	収入	支出
水道会計	24億7,476万円	18億9,876万円	450万円	13億2,124万円
工業用水道	2,719万円	2,462万円	0円	3万円
下水道事業	13億1,601万円	11億2,416万円	3億4,366万円	9億229万円
病院事業	66億5,214万円	69億5,661万円	7億6,520万円	13億5,229万円

決算特別委員会

◎山口 仁美 ○今吉 直樹 植山 太介 竹下 智行 前田 幸一 久保 史睦
宮田 竜二 徳田 修和 仮屋 国治 下深迫孝二 宮内 博 ◎委員長 ○副委員長



決算審査の会議録



令和4年度予算

会議の詳細は、ホームページで公開しています。



委員長
山口 仁美

今後の予算審査にもいかなるよう、運営についても議論し、委員会より提言を行いました。